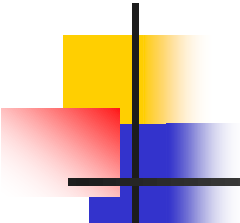


2016中期経営計画（詳細）

2016-2018

2016年5月16日
鉦研工業株式会社
経営管理本部

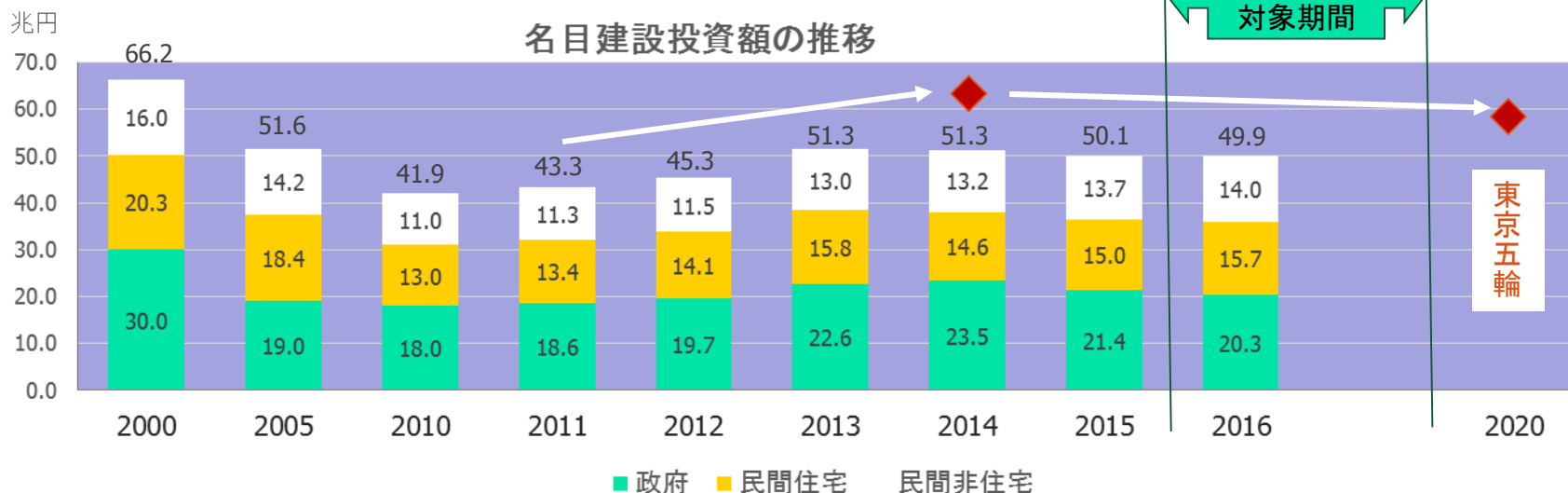


目 次

1. 事 業 環 境
2. 基 本 方 針
3. 成 長 戰 略
4. 財 務 目 標
5. 設 備 投 資
6. 研 究 開 發 投 資

1. 事業環境(1)

(建設経済研究所 2016年1月発表数値)

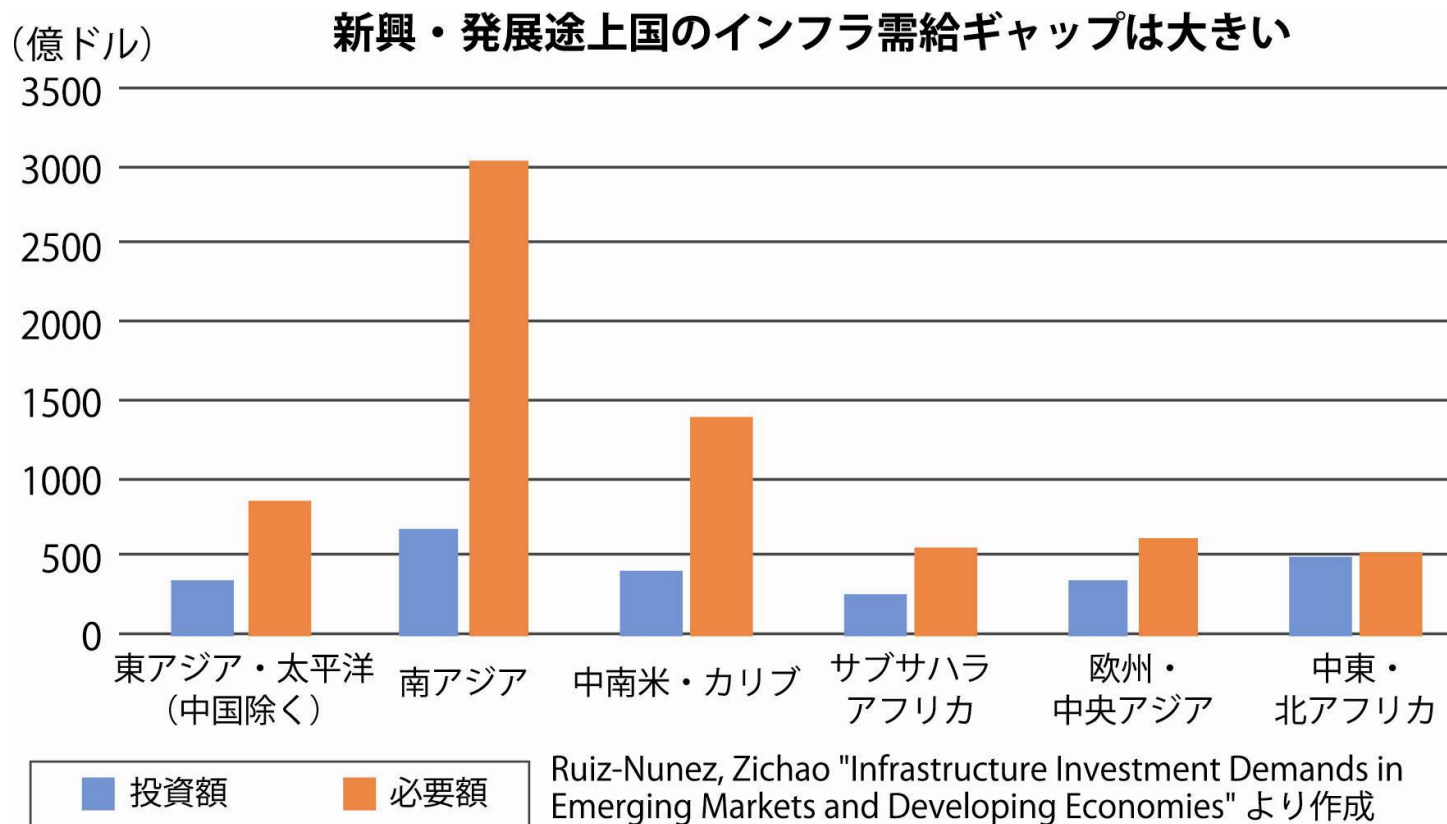


国内建設市場は今後なだらかな低下を辿り東京五輪後に縮小

しかしニッチ市場ながら成長が見込める多数の分野が存在

- リニア中央新幹線トンネル(長尺コントロールボーリング)
- 整備新幹線・高速道トンネル(先進調査ボーリング、地盤改良)
- ビル基礎工事(アンカー工事)
- クリーンエネルギーの利用(地熱、地中熱、温泉、波力・小水力発電)
- 海底資源調査回収、他

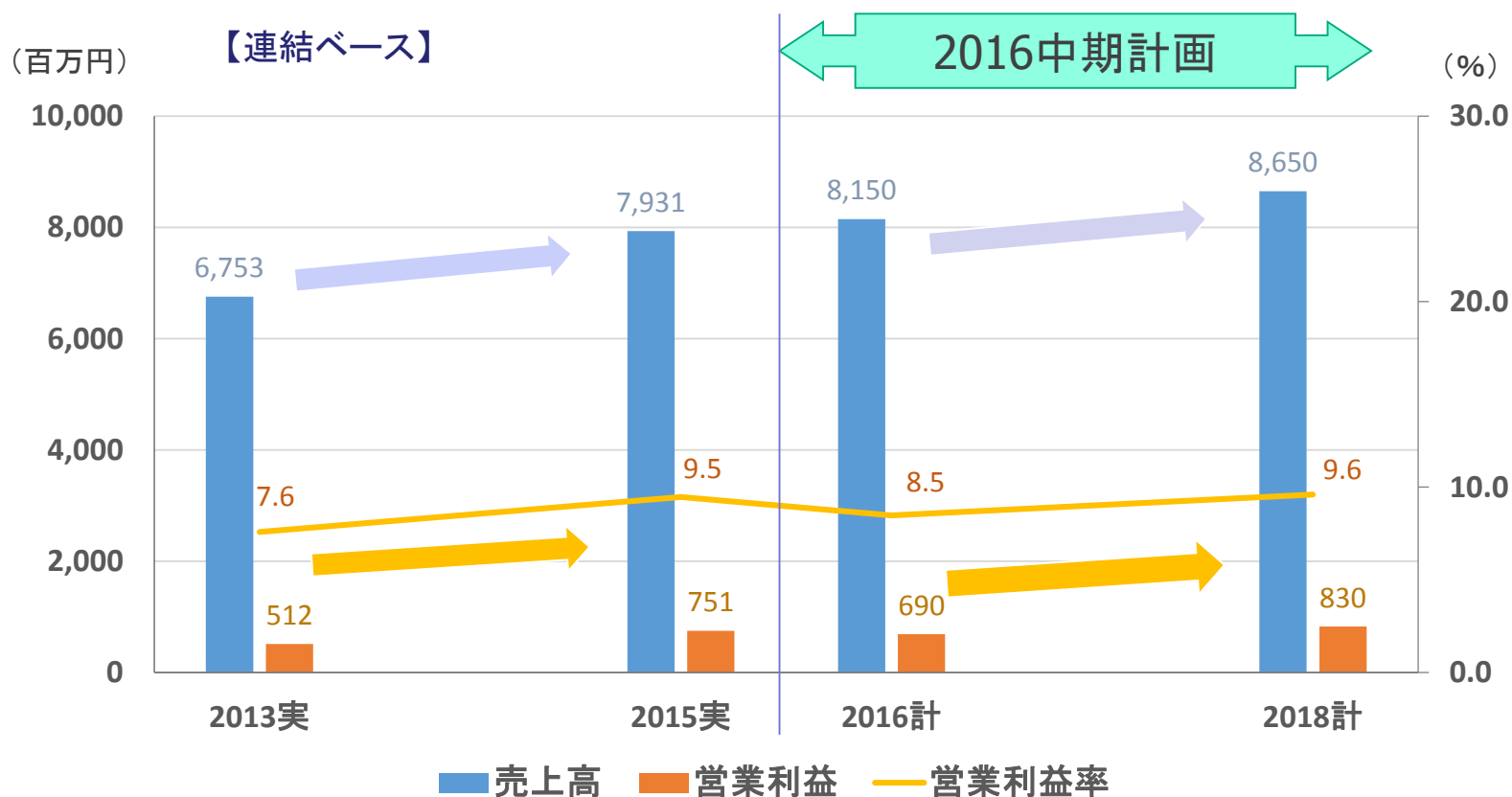
1. 事業環境(2)



さらにアジア、中南米、アフリカ諸国では今後も高いインフラ投資が見込まれる

2. 基本方針

新たな環境下、当社は“広く世界を見つめて新しい技術を創造し社会に地球に限りなく貢献します”という経営理念のもと、「売上拡大と高収益の維持」を達成します。



3. 成長戦略

2016中期計画 上位目標： 新たな環境下、売上拡大と高収益の維持を達成

1) 海外事業の拡大

- ・駐在員事務所開設、代理店網構築、攻略製品現地生産等による東南アジア市場の攻略
- ・中、韓、台、その他へロータリーパーカッションドリルの拡販
- ・ODA水井戸案件への積極的取り組み

2) ONE&ONLY技術の確立

- ・トンネル、コントロールボーリング、大口径立坑掘削、温泉開発等の得意工種で業界唯一無二のボーリング施工技術を確立

3) 新成長市場、低シェア市場、新規顧客の確実な攻略

- ・地中熱・地熱等の再生可能エネ、資源開発市場等へ参入
- ・都市土木、ダムトンネル、水井戸等、低シェア市場への再アプローチ
- ・従来機種 of 汎用性を高め市場分野拡大

4) ストック・ビジネスへの注力

- ・メンテナンス全国ネット・中古機販売ルート構築による部品・商品の拡販
- ・生産管理システム連携による在庫適正化

5) 経営効率の向上

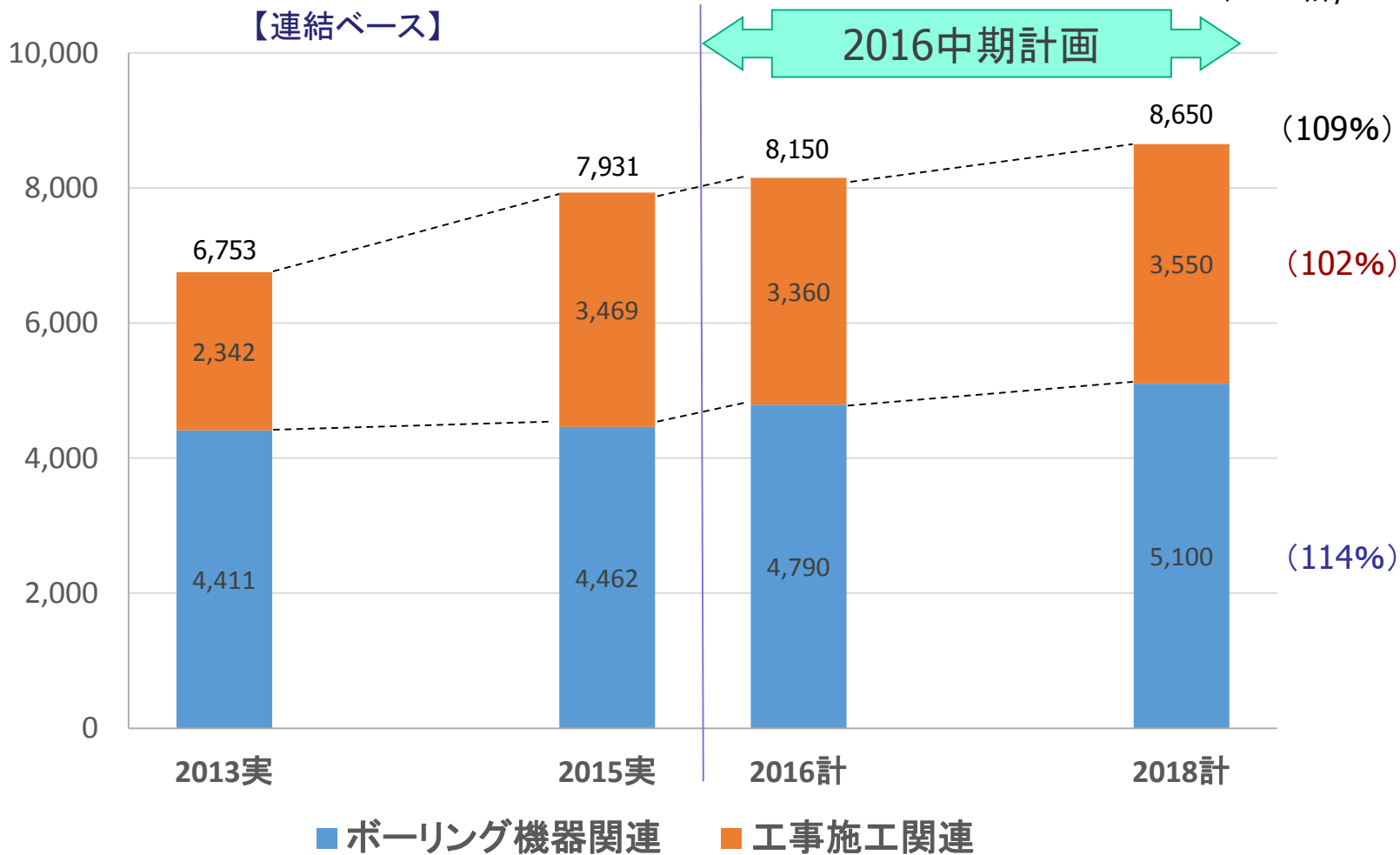
- ・製品開発改良の迅速化、社内体制変革による販売力強化
- ・VEによる原価低減、即納率向上と在庫縮減
- ・社員活性化、女子社員・シニア社員の活用

3. 成長戦略

(百万円)

セグメント別売上高の拡大

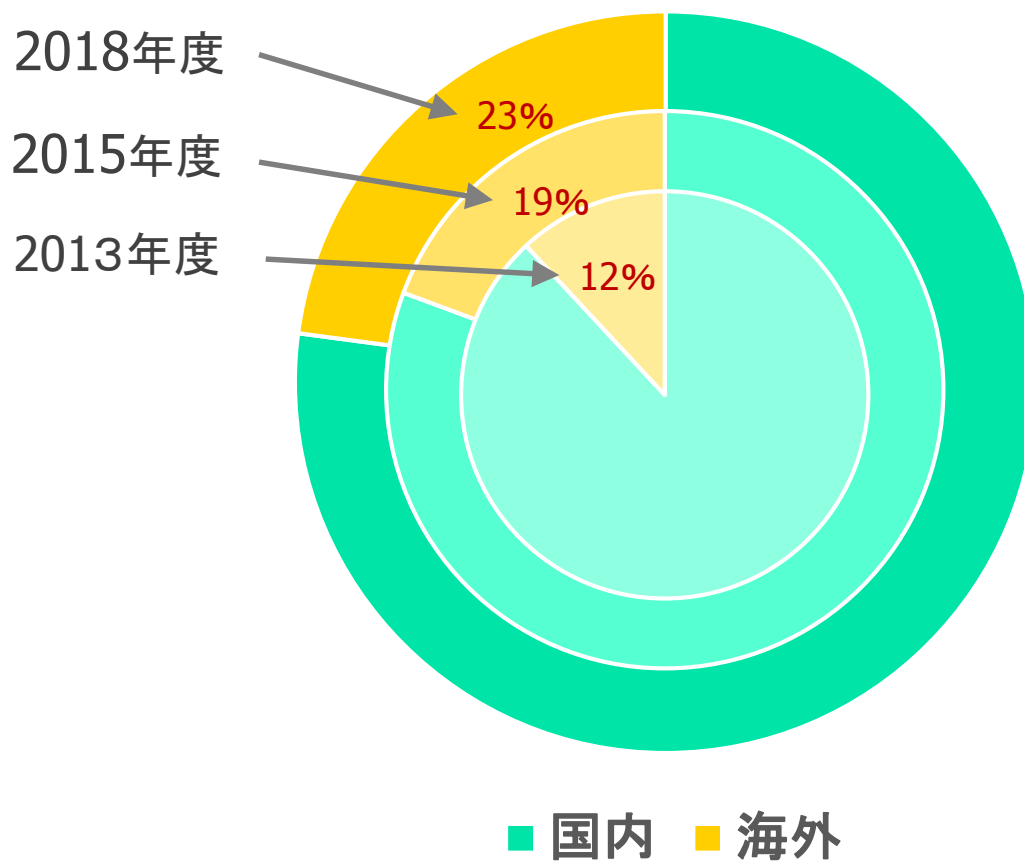
(2018計/2015実)



3. 成長戦略

海外売上構成比のアップ

【連結ベース】



4. 財務目標

		2015年度 実績		2016中期経営計画目標			
				2018年度		2018/2015	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
売上高	百万円	7,931	6,989	8,650	7,750	109%	111%
営業利益	百万円	751	648	830	770	111%	119%
営業利益率	%	9.5	9.3	9.6	9.9	-	-
経常利益	百万円	739	679	790	760	107%	112%
当期純利益	百万円	840	821	460	460	55%	56%
ROE	%	28.4	28.8	10.4	10.6	-	-

(注) 当期純利益は2015年度に繰延税金資産151百万円を計上後の数値

5. 設備投資

総額 15億円

1) 厚木工場のリニューアル投資

工場構内に新工場棟を増築、既存工場棟を修理し、増産、効率向上、更新

2) 施工工事用機材投資

コントロールボーリング、大口径立坑掘削、温泉掘削等の能力増強

3) 諏訪工場投資

機材メンテナンスセンター、開発試験場としての機能拡大

4) 業務効率化のためIT投資

営業管理、生産管理、人事給与、実地たな卸し等の新システム開発

6. 研究開発投資

総額 5億円

1. アジア市場開拓のための製品開発
2. 災害対応、燃料デブリ調査、ボーリング作業省力化のためのボーリングロボット
3. 大容量、軟弱地盤改良用の高圧ポンプ
4. 地中熱削孔作業能率向上のためのスーパーバイブロヘッド
5. 地熱発電生産井の掘削機械
6. 海底資源調査用コア採取ドリル
7. トンネル先進調査技術の高度化
8. 著しい地質条件下での長尺コントロールボーリング技術



2016中期経営計画(詳細)

これで説明を終了します
ご清聴ありがとうございました